

避難行動要支援者の避難方法等に関するアンケート調査 集計結果

この調査は、令和元年5月1日現在、東海第二発電所のPAZに位置する長砂の避難行動要支援者名簿に登録のある方を対象でたものです。広域避難において長砂の避難行動要支援者が「どのような行動をとるのか」また「どのような支援が必要となるのか」、現時点の実態を把握するための調査となっています。

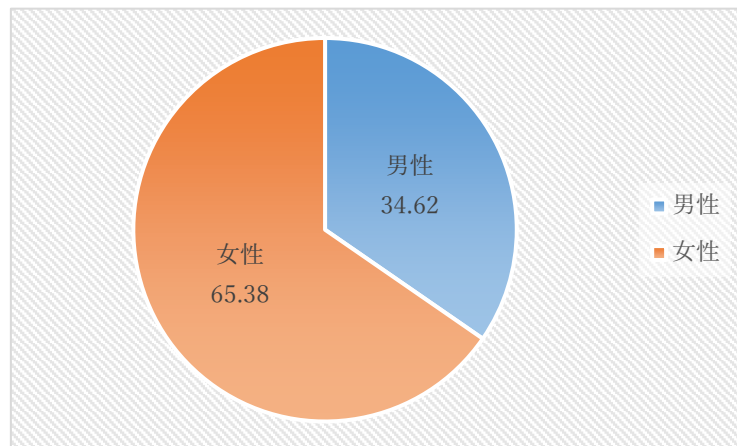
○回答率について

アンケート対象者数	26人 ※
回答数	26人
回答率	100%

※アンケート発送時、名簿登録者数は27人であったが、うち1名が所在不明のため集計には含めないこととした。

○性別について

性別	人数	割合
男性	9	34.62%
女性	17	65.38%
合計	26	



【問1】同居している家族の人数

本人を含む世帯人数	人数	割合
1人	14人	53.85%
2人	7人	26.92%
3人	1人	3.85%
4人	0人	0%
5人	2人	7.69%
6人	1人	3.85%
7人	1人	3.85%

【問2】避難手段について

項目	人数	割合
自家用車により自力で避難	7人	26.92%
家族、親戚と自家用車で避難	4人	15.38%
自治体の用意するバス	7人	26.92%
ストレッチャー仕様の福祉車両	3人	11.54%
車イス仕様の福祉車両	5人	19.23%

【問3】避難時の支援者の有無について

項目	人数	割合
自力で避難	9人	34.62%
家族、親戚に支援をお願いできる	3人	11.54%
市職員の支援が必要	7人	26.92%
近所の方、民生委員	3人	11.54%
介護従事者（ヘルパー等）	2人	7.69%
医療従事者（医師・看護師等）	2人	7.69%

【問4】避難時に必要な機器について

項目	人数	割合
機器、器具は必要ない	13人	50%
必要だが、自分で用意できる	5人	23.08%
担架やストレッチャーが必要	1人	3.85%
車イス	5人	23.08%
その他	2人	7.69%

【問5】避難先について

項目	人数	割合
千葉県四街道市（市避難先）	8人	30.77%
親戚・知人宅	5人	23.08%
現時点ではわからない	8人	30.77%
避難は難しい	5人	23.08%

【問6】前問で「避難は難しい」と回答した理由について

項目	人数	割合
長時間の移動は身体に負担がかかる	0人	0%
避難所での生活が不安である	2人	40%
その他	3人	60%

【問7】原子力災害時の避難に関する意見・疑問点など（自由記述）

- ・ 耳が聞こえにくく、防災行政無線の放送がよく聞こえない。また、歩行が困難である。
- ・ 集団避難をすることが嫌だ。
- ・ 再稼働に反対である。